

# 廃止された近距離鉄道の再開業をめぐる ドイツの動向

ひじかた  
土方 まりこ  
交通経済研究所主任研究員

ドイツにおける鉄道改革は、1994年1月1日に実施された西ドイツ連邦鉄道と東ドイツ国営鉄道の統合と株式会社化（株式は連邦政府が保有）をもってスタートした。その一環として、1996年には、都市内や地域内で旅客輸送を担う定期列車としての近距離鉄道に対する管轄責任が、連邦から全16州へと移管された。以来、各州（もしくは各州が指定した主体）は、所轄する領域において提供されるべき近距離鉄道による輸送サービスの仕様を決定し、鉄道事業者に運行を委託することなどを通じて、その供給を実現している。そうしたなか、需要の低迷などに見舞われた近距離鉄道については、各州による判断に基づいて運行が停止されてきており、その総延長は2026年までにドイツ全土で3,600km超に上った。

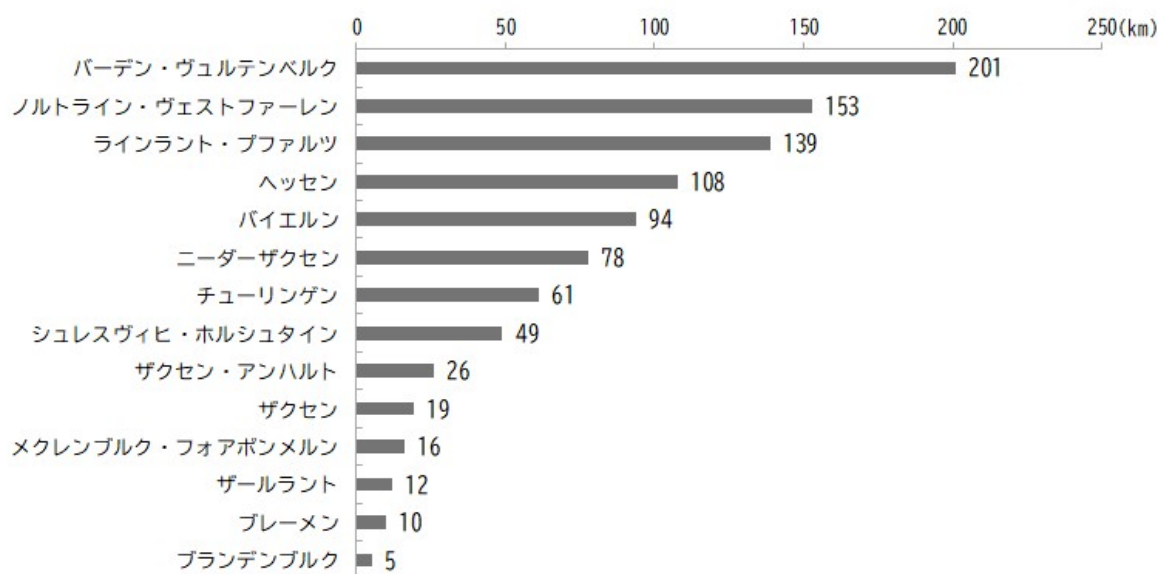
一方で、過去に廃止された近距離鉄道を再び開業させることを目的とした取組も行われてきている。この再開業を目指すにあたっては、関係するすべての自治体（郡や郡独立市）による合意の下、所轄の州への要請が行われる必要がある。要請を受けた州は、技術面での実現可能性、需要の見込み、費用対効果といった要素に加えて、州全体の近距離鉄道政策への整合や既存の公共交通機関（路線バスなど）との機能分離なども考慮して、その採否を決定している。採用対象となった場合、当該の構想は州の公共

事業として正式に位置づけられ、整備水準の決定や技術面での最終的な確認といった各段階において、州自身が主体的に関与していくこととなる。再開業に向けて必要となる整備費の負担主体については、案件ごとに相違しているが、一般的には郡、郡独立市、州、インフラ事業者などがそれぞれの役割に応じて分担するかたちで賄われている。

1994年から2026年までのドイツにおいて、再開業に至った近距離鉄道の総延長は971kmに達した。次ページの図には、こうした再開業路線の距離を州別に示したが、州によって再開業距離には大きな差がみられること、旧西ドイツ地域に属する各州の同値が総じて大きいことなどが読み取れる。

なお、2020年には、一定の要件を満たした再開業プロジェクトを対象として、地域交通助成法（Gesetz über Finanzhilfen des Bundes zur Verbesserung der Verkehrsverhältnisse der Gemeinden：GVFG）に基づき、補助対象として認められる費用の最大90%を連邦が負担するという制度も創設された。そして、2026年2月1日には、このGVFGによる連邦支援の対象となった初の近距離鉄道が、沿線に縁のある文豪の名を冠した「ヘルマン・ヘッセ鉄道」として再開業した。

図 州別にみた近距離鉄道の再開業距離（1994～2026年）



注 1) 平日、もしくは毎日運行されている近距離鉄道を対象として、再開業された距離を示している。観光輸送、季節運行、週末のみ運行は含まない。また、国家の再統一を背景として再開業されたベルリン S バーンも含まない。

2) 1994 年から 2026 年までのハンブルク州では、近距離鉄道の再開業は行われていない。

出所：主要参考文献 [2] を元に作成

同鉄道は、バーデン・ヴュルテンベルク州のシュトゥットガルト都市圏の外縁部と周辺地域を結んでいる。西ドイツ連邦鉄道による旅客輸送が 1983 年に停止された 20km ほどの区間 (Calw~Weil der Stadt) において、およそ 1 億 9,500 万ユーロを投じて再整備された。開業初月の利用者数は 2 万 5,377 人であり、これを暦日ベースで 1 日あたりに換算すると 900 人ほどにとどまる。もっとも、列車本数や運行時間帯が限定されていたことや並行するバス路線も存続していたことなどを踏まえれば、滑り出しとしては概ね好調であったと評価する向きもみられる。

再開業を主導した Calw 郡は、本格的な運行体制が整った段階では、1 日あたり 3,000 人超の利用が見込まれるとしているが、40 年以上に渡って近距離鉄道の運行が途絶えていた地域において、沿線住民の交通行動をどれほど変容

させることができるのかについては、今後の複数年に渡る推移を観察する必要があるだろう。

#### 主要参考文献

- [1] 土方まりこ (2021) 「ドイツの都市地域交通政策における費用便益分析の実践と日金銭的便益の評価に関する見通し」『交通学研究』第 64 号、pp. 35-42.
- [2] Allianz pro Schiene (2026) “Reaktivierung von Bahnstrecken - Das Comeback der Schiene,” <https://www.allianz-pro-schiene.de/themen/infrastruktur/reaktivierung-bahnstrecken/> (2026 年 5 月 13 日閲覧) .
- [3] ヘルマン・ヘッセ鉄道ウェブサイト <https://www.hermann-hesse-bahn.de/>.